

TTC 提案山行実施記録表

2012年7月02日 報告者: 三村義昭

山行名	雄国沼・デコ平湿原フラワートレッキング 【猫魔ヶ岳 1404m/福島県】						
実施日	平成24年6月30日(土)～7月01日(日) 1泊2日 15人乗ハイエース利用						
天候/参加人員	天候: 実行欄記載 レベル: ★☆ 参加者: 申込8名/実施8名 (男2名/女6名)						
パーティスタッフ	CL/計画/写真:、SL、会計:、救護:、ドライバ: スタッフ名削除						
参加メンバ	TTCメンバ: 6名 ゲスト参加: 2名 氏名削除						
費用	約28,200円(交通費¥16,888+宿泊費¥11,250+TTCカンパ金¥62) 内訳: [交通費] ハイエースレンタル料(@25000x2)¥50,000、燃料代(往路370+帰路380+待機50)(@125x800/5)¥20,000、高速料金(東名@1450x2+首都高速@900x2+東北・磐越道往路(東京-磐梯河東:通勤割5,750)+同帰路(猪苗代-東京:通勤割¥5400))¥15,850、ドライバ謝礼(@18000x2+宿泊加算2000)¥38,000、ドライバ宿泊費¥11,250/交通費計¥135,100/一人当たり¥16,888、[宿泊費] 休暇村裏磐梯(@11,100+入湯税150)¥11,250、集金(28,200x8)¥225,600-費用合225,100=残金500(TTCカンパ金会計へ)						
TTCカンパ金 ¥500	歩行/行動時間			猫魔ヶ岳～雄国沼(6/30)			
				デコ平湿原～早稲沢(7/01)			
		歩行時間	休憩時間	行動時間	歩行時間	休憩時間	行動時間
	ガイトブック	3:40	—	—	2:00	—	—
	計画	4:05	2:55	7:00	2:15	2:00	4:15
	実行	4:38	1:11	5:49	2:14	0:39	2:53

実行コースタイム記録

◆6/30(土) 天候: 終日晴(雄国沼トレッキング: 累積標高差登り300m/下り550m/歩行距離12km/歩行約25,000歩)

1名 2名 5名 東名/首都高速中央環状經由 (トイレ休憩) 東北道/磐越道 (トイレ休憩)
 荻野新宿=(妻田) == 本厚木ヨカガ前 == 東名厚木 IC == 東京料金所 == 用賀 PA == 浦和料金所 == 羽生 PA == 郡山 JCT
 6:00 6:13 6:19 6:40 6:54/7:02 8:11 8:36/8:48 10:34
 (トイレ休憩) ゴールライン無料開放中 (昼食/トイレ) 1:03 0:22 1:06 (トイレ休憩) 0:43 (湿原木道一周) 0:24 1:00
 磐梯高原 SA == 磐梯河東 IC == 八方台登山口——猫魔ヶ岳——猫石——雄国沼休憩舎——雄国沼湿原——休憩舎——
 10:55/11:05 11:10 11:41/12:11 13:14/13:23 13:45/13:50 14:56/15:05 15:48/16:03 16:27/16:30
 雄子沢登山口 == 休暇村裏磐梯(泊) 夕食 18:30～19:45/就寝 21:00～22:00
 17:30/17:35 17:47 到着

◆7/01(日) 天候: 曇後日中晴、のち雨(デコ平湿原トレッキング: 累積標高差登り50m/下り350m/歩行距離6km)

朝食 7:30～ 悪路林道走行 (体操/雨具着用) 0:10 湿原一周 0:19 (雨具脱) 0:08 0:33 0:35
 休暇村裏磐梯 == グランデコスキーセンター == デコ平湿原登山口——デコ平湿原入口——デコ平湿原——入口(分岐)——百貫清水——
 9:00 9:23 9:35/9:52 10:02 10:21/10:28 10:36 11:03/11:13
 0:29 (トイレ/体操) (昼食/温泉入浴) (ミヤゲ・休憩) 矢板付近事故渋滞約20分/藤岡佐野～加須渋滞18km/70分
 布引滝——早稲沢登山口 == 休暇村裏磐梯 == 柏屋猪苗代店 = 猪苗代 IC = 郡山 JCT = 上河内 SA = 浦和料金所 =
 11:48/11:59 12:28/13:43 13:05/14:32 14:55/15:10 15:14 15:30 16:53/17:09 18:53
 (トイレ/夕食) 大橋 JCT 渋滞 3km
 川口 PA == 東京料金所 == 厚木 IC == 本厚木駅 == 妻田 == 荻野新宿
 18:59/19:26 20:40 21:01 21:08 21:25 到着

◆交通アクセス(所要時間)

往路(厚木ヨカガ前→八方台/土曜日) 5:28 / 復路(猪苗代 IC→本厚木ヨカガ前/日曜日) 5:54

コースの概要、特記事項、反省事項等

7月上旬になると、湿原一面が黄色に染まるニッコウキスゲの群生地として名高い雄国沼のフラワートレッキングが候補に挙がり、報告者が提案山行としての立案とCLを引き受けた。当初、グランデコスキー場の登山ゴンドラを利用して、西吾妻山の登山との組み合わせを考えたが、夏山ゴンドラの運転開始が7/14(土)からとわかり、このプランは断念した。その代り NET で調べてみるとスキーゲレンデの少し西斜面に広がるデコ平湿原に、6/下旬になると見事なワカサギの群落が見られることが分かった。また、ここから百貫清水と布滝を經由して早稲沢に至る静かな森林浴コースがあることも分かった。そこで、雄国沼のニッコウキスゲとデコ平湿原のワカサギの両方同時期に見られるのは、6/30-7/1の週末しかない、実施をこの週末に絞った。裏磐梯は高原リゾート地として有名であるが、正直満足できる泉質の温泉がない。その中でも、温泉・宿泊設備・食事・地の利もまずまずで、リーズナブルな価格で宿泊できる休暇村裏磐梯を宿泊地に選定し、早々に20名分/和室5室を仮予約した。5月例会で参加者を募集したところ、

TTC ヲバからは6名しか応募者がなかったことから、TTC 設立発起人のお一人であるMさんと、TTC 創立時ヲバの大半と設立以前からの岳友であるKさんをお誘いして、8名のヲバとし、1トヲバが運転の15人乗ハエースにて実施することにした。梅雨の最盛期でお天気が最大の心配事。3日前の天気予報で、6/30は晴基調、7/01は曇のち雨の天気予報がほぼ固まった。そこで、天気の良い6/30に行動時間の長い雄国沼、天気が悪い7/01はデコ平湿原と当初計画の日程を入れ替えることにし、その旨参加者にアナウンスして、事前了解を頂いた。

◆6/30(土): 天気の良い週末とあって、首都高が混み合い、浦和料金所まで2時間を要したが、東北道・磐越道は車の量は多いものの順調に走り、目的地の八方台登山口に、11:42に到着。もし、到着が正午を回ってしまったときは雄子沢登山口からのピストンに変更しなければならないかとも考えていたが、ギリギリ間に合った。これなら予定のコースを回って、何んとか6:00PMまでに下山可能と踏んだ。

駐車場は勿論、道路の路肩も登山者の車であふれかえり、続々とハバがやってくる盛況ぶり。八方台の休憩舎で昼食とトイレを済ませてから、猫魔ヶ岳に向けて正午過ぎに出発。からりと晴れわたり、心地よい風が吹く絶好の登山日和の中、ブナ林の緩やかな登り1ピッチで、本日の最高峰1404mの猫魔ヶ岳頂上に到着。東に大きく聳え立つ磐梯山、櫛ヶ峰の稜線の上に安達太良山頂上の乳首がのぞく。南には猪苗代湖と南会津の山並み、北に目を転ずれば、檜原湖の先に吾妻連峰が連なり、明日訪ねる予定のグランデコスキー場がくっきり見渡せる。一等三角点は頂上露岩の50m先にあった。次のピク猫石まで進むと、西側の眺望が開け、眼下に雄国沼と湿原の眺望が一気に広がり、遠景に大量の残雪を戴く飯豊連峰が霞む。見事な眺望に歓声上がるが、黄色に染まっているはずの湿原帯は緑の絨毯。最盛時期より1週間早いだけなのに、花が咲いていないのではと少々不安に。

緩やかなブナ林の登山道を森林浴を楽しみながら、雄国沼に向けてのんびり下って行くと北岸に降り立ち、湖岸を反時計方向に10分ほど進むと立派な雄国沼休憩舎に到着。ここでトイレ休憩し、ニコウキガ咲く湿原に向かう。この辺りまで来るとハバだけでなく、この時期シャトルバスが運行されている西側の金沢峠を下ってきた観光客の姿も多い。湿原に降り立つと、心配していたニコウキガが見事に咲き誇り、まだ全面とはいかないが黄色の絨毯に喜びの歓声上がる。花と景色を愛でながら木道をゆっくり一周し、通行の邪魔にならない場所に陣取ってしばしニコウキガと雄大な景色、湖面を渡って爽やかに吹く風の匂いを感じながら、おしゃべりとエネルギーチャージを楽しみながらのひと時。ニコウキガの他、ワサガ、咲き残りのレンゲツツジ、咲き始めたヒコギアヤメが目についた。また、湖岸には、タウキ、ササトウガン、ベニバナイカリウ、エビネソ、アズマギク、マイヅルウ、チゴユリ等の多くの花々。

ニコウキガに後ろ髪ひかれる思いで別れを告げ、帰路を急いだ。宿泊先の休暇村に何とか6:00pmまでに着きたい。それにはハエースの待つ雄子沢登山口に5:30pmまでに到着したいと、かなり速足になったが、ゲスト参加の2名を含め、みなさん遅れることなく、予定時間に無事下山。天気の良い今日と明日の予定を入れ替えたことで、今日の行程が苦しくなったが、私の読み通り、八方台から5時間半で予定のコースを回って無事下山できた。日中ごった返していた駐車場もこの時間になれば2,3台しか車はいない。ハエースはこの先2kmにある道の駅裏磐梯の駐車場に止めおき、駐車場が空く、4:00pm以降雄子沢駐車場で待機してもらっていた。

ハエースに乗って10分強で、檜原湖東岸の広大な敷地に建つ休暇村裏磐梯に到着。夕食は6:30pm開始でお願いし、早速温泉で汗を流す。3階の部屋からは、磐梯山の壮絶な爆裂火口の景観が一望され、広大な芝生の庭には雉が2羽、3羽と遊ぶ姿が可愛い。夕食は、宴会場にセットしてくれた席ではあるが、バケツなので、各自セルフサービスで料理を調達しなければならないところが難点だ。特別びっくりするような料理はなかったが、一つ上げるとすれば、会津の郷土料理「こづゆ」ぐらいかも・・・それでもみなさん乾杯のビールに酔い、腹いっぱい食べたようだ。夕食後、そして翌朝と温泉をゆっくり堪能したヲバが多かった。露天風呂のみが、自家源泉ナトリウム・硫酸塩・炭酸水素塩/弱アルカリ性の源泉かけ流しで、褐色の濁り湯。内風呂は加水・循環の透明の温泉。

◆7/01(日): 早朝5時頃までは磐梯山がくっきり見えたのに、6:00pm頃になると頂上付近は雲に隠れた。早朝、付近を散歩するヲバも。朝風呂も入り、しっかり朝食バケツも食べて9:00am出発。グランデコスキー場の中の林道を登るという今日のアクセス道。入口がすぐ見つからず教えてもらった。スキーゲレンデの悪路を登り、さらに西に進むこと12分で、目的地のデコ平湿原入口駐車場に到着。車高の低い乗用車でここに入るには勇気がいる(車の腹を擦る)。林の中を10分も登るともうデコ平湿原だ。古い木道を反時計方向に進むと、こんな藪っばい山奥にこんな広大な湿原があるとは思えないほど広大な湿原に一面ワサガの白い穂が揺れている。感激感激! 山を20年やっているが、こんな素晴らしいワサガの群落は初めてとベテランヲバ。そのうち青空が覗き陽が射してきた。急いで雨具を脱ぎ、以後お世話になることはなかった。ブナの原生林を抜けて名水百選の百貫清水へ。池の底から湧く湧水をひしゃくで汲み、名水の味をかわるがわる堪能。樹林帯の急坂を早稲沢の谷底まで下りきったところが、幾筋にも分かれて50m以上の落差で優雅に落ちる布滝だ。さらにひと下りしてIサ待つ早稲沢登山口に12時半に到着。今日は3時間のワサガ観賞とブナ原生林の森林浴を心行くまで楽しんだ。

休暇村に戻り、山塩ラーメンの昼食。喜多方の太い縮れ麺に、北塩原村産の岩塩で味付けした透明の塩スープが絶妙。汗まみれの身体を洗い、最後に源泉かけ流しの温泉をゆっくり楽しんで裏磐梯を後にした。雨がぽつぽつ降り出し、やがて本降りに。事故渋滞と日曜日夕方の高速道渋滞に遭いながら、猪苗代ICから約6時間かけて無事厚木に到着。ゲストを含めた皆様から、今回の花と温泉三昧の湯った〜り山行はとても良かった。また計画してとの声を頂戴した。設定時期が良く、ニコウキガとワサガの群落のどちらもバツリ見られてラッキーだった。